

一般質問通告書

令和4年 北秋田市議会 6月定例会

順位	1-4	質問者	1	福田 牧子	(公明党)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨						理 事 者 の 答 弁	
1. 公共交通について ①「北秋田市地域公共交通利便増進実施計画」について 1) 鷹巣地域の「市街地循環バス」は利用者が定着してきたと報道掲載があった。しかし、米内沢・阿仁前田・阿仁地域は、高齢化により現状の公共交通を利用することは困難であり、市民病院、鷹巣地域のクリニックまでタクシーの利用を余儀なくされ、年金受給者の負担は大きい。現状を解消する方法としてバス停でなくても手を挙げたら乗車できるフリー乗降区間の設定や、デマンド型タクシーの導入が必要と考えるが市長の見解は。 2) 北秋田市のNPO法人「北秋田ハッピーデリバリー」は病院の送迎や買物支援を実施し住民からの要請は大きいが事業継続が困窮している状況である。大館市では、訪問型移動支援サービス事業を実施する特定非営利団体に対して補助金を交付しているが、北秋田市で実施する考えはあるか。							
2. スポーツ振興および観光振興について ①薬師山スキー場の更なる有効活用について 1)「薬師山スキー場」は国道沿いにあり、ナイター設備も整備され市内外から人気がある。しかし、現状の「Tバーリフト」では、手袋がボロボロになるとの苦情があり、またスノーボードにおいては利用中に転倒するといった危険が伴っている。この現状をどのように認識しているか。 2) このままでは転倒の大きな事故に繋がると考えるが市長の見解は。 3) 2025年に開通予定になっている今泉～二ツ井間の自動車道が開通となれば「更なる利用客が見込まれ、十分、観光資源となる」と思うが活用していく考えはないか。 4) 冬季のスポーツ振興と観光資源として活用する場合、地方創生臨時交付金を利用したのチェアリフトなどの整備はできないものか。 5) 冬季以外の観光資源としてヒュッテを活用したの「カフェ」や「産直」などの店舗として開放できないか。							

3. 投票所について

①投票所のバリアフリーについて

- 1) 北秋田市の多くの投票所はバリアフリーになっていない。高齢者や身体障がい者が快く投票できるように段差の解消を行なった上で養生シートを敷くことで土足のまま入場し投票できるようにすべきと考えるが見解は。

②投票所の問題解決策について

- 1) 期日前投票所の増設や設置場所の工夫の取り組みとして、市民病院の外来受診者の投票ができないか。
- 2) 過疎地での期日前投票所の集会所などへの巡回設置はできないか。
- 3) 投票所への移動支援として「巡回バス運行」や「無料乗車券」、タクシー券配布などできないか。

③障がい者等の対応について

- 1) 発達・精神・知的障がいがある有権者への対応で、ある投票所では投票できない方がいたことは把握されているか。
- 2) 障がい者手帳の提示をすることで、ご家族の付き添いを可能とし、心の安定を図った上で投票することができるようにできないか。